

ふくしま 市議会 だより

VOL.228 令和7年11月1日発行

ー 主な掲載内容 ー

- ・ 定例会議の概要…………… P 2
- ・ 常任委員会の審査結果… P 3
- ・ 一般質問など…………… P 4～P 6
- ・ 議案等の審議結果…………… P 7
- ・ 全員協議会を開催…………… P 7
- ・ トピックス…………… P 8

写真提供：福島県立福島東高等学校写真部 川村 夕姫さん
テーマ：わたしの好きな福島市「紅葉のライトアップ」
撮影場所：あづま総合運動公園 いちょう並木(中央園路)

定例会議

令和7年度 補正予算など31件可決 ～9月定例会議の概要～

令和7年9月市議会定例会議は、9月1日から9月22日までの22日間にわたり開催されました。

定例会議初日の9月1日には、学校体育館のエアコン整備を来年度の予定から前倒して実施する経費やツキノワグマ被害等特別対策事業の経費など総額24億1,470万円余の2つの令和7年度一般会計補正予算など議案24件及び報告8件が市長から提出されました。

また、一般会計補正予算のうち、ツキノワグマ

被害等特別対策事業については、初日のうちに採決を行い、原案のとおり可決しました。

5日から4日間にわたり行われた一般質問には13人の議員が登壇し、市政の諸課題に関する質問がなされました。10日には、工事請負契約の件の追加議案1件が提出され、さらに、令和6年度決算に関する議案を審査するため決算特別委員会を設置しました。最終日の22日には、6件の追加議案が提出されたほか、各委員長報告、討論、採決が行われました。提出された議案については、いずれも原案または決算のとおり可決あるいは認定、同意されました。



決算 審査

令和6年度の決算を審査～決算特別委員会～

9月定例会議では、議長及び議会選出の監査委員以外の全議員で構成する決算特別委員会を設置し、令和6年度の決算を審査しました。

各常任委員会と所管を同じくする分科会により詳細な審査を行った後、議場で全体会の総括質疑を行い、その後、令和6年度決算について認定すべきものとする採決を行い、定例会議最終日の本会議において認定されました。



◆総括質疑の内容(一部)

問：信夫ヶ丘球場整備事業費について、防球ネットを増設したことによる成果は。

答：福島県高等学校野球連盟の春季大会、秋季大会などが再開され、信夫ヶ丘球場の賑わいが戻ってきた。大会において、ファールボールの飛び出しはなかった。

令和6年度決算の詳細については市政だより9月号や市のホームページにも ➡ 掲載されております。



先議

定例会議初日に速やかな 対応が必要な議案を審議

9月定例会議の初日に提出された議案のうち、一般会計補正予算(第2号)について、市長からの要請により、初日のうちに審議、議決いたしました。

初日に可決された議案(補正予算)

◆ツキノワグマ被害等特別対策事業費 補正額6,000千円

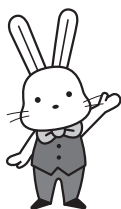
近年、全国的にヒグマ及びツキノワグマ、イノシシによる人の生活圏への侵入が相次いでおり、

人身被害も多く発生している。こうした状況を受け、改正鳥獣保護管理法の9月1日施行に伴い、人の日常生活圏での銃猟をすることを可能とする「緊急銃猟制度」が創設された。緊急銃猟制度の安全な運用体制を整備するための必要経費を補正するもの。



※緊急銃猟制度

人の日常生活圏にクマやイノシシが出没した場合、一定の条件を満たしたときに、市町村長の判断により銃器を使用した捕獲等ができる制度。



総務 財産取得の件 (災害用自走式トイレカー)

災害時のトイレ環境の整備を図るため、災害用自走式トイレカーを取得する。規格は、個室5部屋(男性用2、女性用2、バリアフリー1)、オストメイト対応、4輪駆動のオートマチック車、乗車定員は3名、契約金額は、3千80万円となる。



(主な質疑と答弁)

問：機能の詳細と災害時の他自治体への派遣について。

答：トイレは水洗式であり、約400回の使用が可能。汚物タンクが3分の2以上になるとアラームで知らせる仕組みである。内閣府の災害対応車両登録制度への登録や災害時相互応援協定などによる被災地への迅速な支援が可能となる。

文教福祉 学校体育館エアコン 整備事業の前倒し

来年度に予定していた警戒レベル4で開設される避難所の小中学校13校の体育館への大型スポットエアコン整備事業を前倒しして実施する。また、レベル3で開設される避難所の小中学校10校については、今年度、既に整備を進めている。

(主な質疑と答弁)

問：エアコンの機能と13校の内訳は。

答：エアコンは、冷房と暖房の両方が使用可能。設置する学校の内訳は以下のとおり。

小学校(8校)：三河台、南向台、森合、笹谷、湯野、平田、野田、庭塚
中学校(5校)：渡利、蓬萊、信陵、北信、信夫

経済民生 飯坂温泉観光会館施設 改修事業

令和8年6月にパルセいいざかでの開催が決定している国際会議をはじめ、様々なコンベンションに対応できるよう受け入れ環境の整備を行う。

(主な質疑と答弁)

問：今回の改修を契機にさらなる誘致活動を行うとのことだが、パルセいいざかと今後整備予定の福島駅前交流・集客拠点施設が競合することにならないか。

答：パルセいいざかは、温泉地であることが強みであり、福島駅前交流・集客拠点施設は、駅前で交通の利便性が良いことなどが強みである。それぞれの施設の特長をいかすことで、主催者の様々な要望に応じることができ、誘致拡大に繋がると考える。

建設水道 もにわの湯設備更新

開館から25年が経過した、もにわの湯について、設備の老朽化による故障やレジオネラ属菌の検出などが発生していることから、施設の長寿命化と衛生面における安全性の確保を図るため、ろ過器の更新を行う。

(主な質疑と答弁)

問：ろ過器とボイラーの両方を更新するのか。また、レジオネラ属菌の発生件数と設備更新の理由について伺う。

答：いずれも更新予定だが、今年度は、ろ過器のみの更新となる。レジオネラ属菌の発生件数は、令和元年度と令和2年度の計2件で、それ以降の検出は確認されていない。設備更新の理由は、ろ過器の耐用年数を鑑み、今後の発生を抑制するためのもの。



一般質問 Q & A

●記事の内容 掲載している質問・答弁は要約しています。詳しくは録画中継や会議録をご覧ください。
●録画中継 各記事の二次元コードから、録画中継をご覧ください。



やまだ ゆたか
山田 裕

Q 自衛隊員の集団市

街歩行訓練が市民に不安や恐怖を与えており、訓練時に事前報告を求めるべきと考えるが見解は。



A 福島駅周辺での市中パレードなどの行事は、自衛隊に対する市民の理解と安心感の醸成を目的として開催され、市への後援依頼と合わせ事前に自衛隊から情報提供されている。市内道路での歩行訓練は、警察署へ道路使用許可申請を経て実施されており、安全面に配慮されていると認識している。市として事前報告を求める考えはないが、市民から問い合わせがあれば、駐屯地へ確認し、状況を把握のうえ説明していく。



うらの ようたろう
浦野 洋太郎

Q 今後の防災DXの展開と課題は。



A 業務見直しと合体した革新と捉え、的確な情報収集と伝達共有の効率化に取り組んでいる。被災者支援システムは、今後、発災前の気象情報や河川水位などの情報から、避難所の開設受け入れ、被災状況の把握、被災者支援までのデータが一連で流れる仕組みの構築に向けた運用を検討していく。防災DXは、職員の負担軽減、的確な対応、人口減少下での体制確保につながるが、課題となるデジタル弱者への対応を研究していく。



ねもと まさあき
根本 雅昭

Q リチウムイオン電池

による事故防止のため、処理施設へセンサーや散水設備と組み合わせたシステムなどを取り入れることへの見解とこれまでの予防策は。



A 資源にできない埋めるごみとして排出された場合、資源化工場で破砕などの処理がなされるため、火災報知器と連動する散水設備、酸素濃度を低下させる蒸気防爆装置の装備など、防火対策に取り組んでいる。安定的、持続的なごみ処理機能は必要不可欠であり、分別回収の取り組みと合わせ、施設の更新や大規模改修に合わせた施設整備など、実効性の高い防火対策に引き続き努める。



すがわら みちこ
菅原 美智子

Q 鎌田地区の丸子堰、

本内堰の用水路越水被害は、水門管理のみでは対応できないため、雨水の緊急放水路、一時貯留施設を設置すべきだが見解は。



A 浸水被害軽減には、流す対策に加え、遅らせる対策も必要であり、一時貯留施設は有効な手法であるため設置を検討していく。

また、さらに効果を高めるため、行政だけでなく民間でも貯留施設や浸透枳などの設置など、官民共創による流出抑制の促進が必要と考える。鎌田地区においても、流す対策のほか、遅らせる対策についても今後検討し、官民共創により流域全体で浸水被害の軽減を図る。



みうら ゆみこ
三浦 由美子

Q デフリンピックにつ

いて、子どもたちがデフサッカー選手と触れ合える今後の応援企画は。



A 10月26日に福島ユナイテッドFCのホーム戦で、県が県聴覚障害者協会のブースで行うデフリンピックサッカー競技の応援PRに合わせ、市もホーム戦の誘客、当該企画の広報に努める。11月上旬のデフリンピックサッカー男女日本代表の直前合宿に、広く見学を呼びかけ子どもたちがデフサッカーを体験できる機会を検討したい。加えて、横断幕やのぼり旗の掲示、関係機関への貸し出しなど、応援機運の醸成に努めていく。



すずき まさみ
鈴木 正実

Q 異常な高温による

モモへの障害や溺水被害に対する農家への支援策は。



A 地球温暖化の影響により異常気象が発生し、果樹農家などに深刻な影響を与えているため、気候変動適応型農業支援事業を構築し、溺水被害対策のための井戸掘削や猛暑などから農作物を保護するための自動かん水装置、細霧冷房装置の導入などに係る支援を行っている。今後も極端化する気象への対策の必要性や支援策を生産者に周知し、気候変動対策を推進する。さらに長期的な対策として、高温耐性型品種の開発を加速するよう県への要望を続ける。



さほら まき
佐原 真紀

Q 子育て世代の経済的負担の軽減、環境に配慮した地域づくりの観点で、制服リユースに対する考えは。



A 制服のリユースは、経済的負担の軽減だけでなく、資源の有効活用やごみの削減、地域の共助による持続可能なまちづくりの実現にもつながり、有益な取り組みであると認識している。PTAや地域団体などによるリユース活動が行われ、自主的な支援の輪が広がっており、市民が主体的に取り組めるよう後押し、企業との連携の可能性も含め、今後の取り組みについて検討していく。



にかいどう りえ
二階堂 利枝

Q 子どもたちが農業に関心を持つため、中学校で農業に特化した部活動の設置、地域と連携し野菜、果物や米などを育てる取り組みが必要だが見解は。



A 地域の協力を得て、米や野菜、果物などを育てる体験は、農業を身近に感じ、楽しさややりがいを実感し、地域への愛着、誇りの醸成、食育推進への寄与、農業と科学の密接な関係の理解など、教育的価値の高い活動である。多くの学校で地域の特性を生かし、体験を行っている。部活動の設置は、自主的、自発的な活動であり、活動場所と指導者の確保などの要件を踏まえ、各学校が判断すべきと考える。



ししど かすてる
穴戸 一照

Q 四季の里の将来ビジョン、運営方針、施設活用方針について、今後の進め方は。



A 開園から30年が経過し、様々な課題が生じている。新たな視点で運営するため、実湧満彩な四季の移ろいを感じながら、子どもから大人まで時間を忘れて楽しめる公園とし整備を図る。農業に関する体験コンテンツの導入や定期的な朝市などを実施し、福島らしさを生かしたコンテンツの展開、農畜産物を使用した食事や軽食が取れる場所の整備、子ども遊び場の充実を図る。空き施設は、運営事業者を募集し、民間事業者の知見を生かして施設全体の充実を図る。



ささき ゆう
佐々木 優

Q 加齢性難聴の補聴器購入において、難聴と認知機能低下との関連について本市も調査研究により状況を掴むべきだが見解は。



A 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を実施し、令和5年調査では、耳の聞こえの項目で高齢者約3千人の4・2%、125人が補聴器使用、13・5%、398人が聞こえで困っていると回答を頂いた。補聴器購入補助の実施自治体は、難聴と認知機能低下の関連性に関する独自基準は特になく、対象要件を聴力などに定め実施している。難聴と認知機能低下の関連性は、全国共通の課題であり、国による究明が図られることが望ましいと考える。



おの きょうこ
小野 京子

Q 市立幼稚園、保育所、認定こども園の再編成方針の基本的考え方は。



A 市立幼児教育・保育施設の役割として質をさらに高める拠点、多様なニーズに応え、休日・病児保育などの提供、教育・保育の受け皿確保としている。これを踏まえ、区域ごとに拠点施設を設置し、築50年以上の老朽施設は統廃合し、再整備もしくは民間施設へ機能を移す。さらに、ニーズと定員が見合うよう施設の定員を調整し、子どもの育ちに必要な集団を作れる規模が確保できるよう、市立幼稚園を統廃合し、認定こども園化または民間施設へ機能を移す。



むらやま くにこ
村山 国子

Q 不登校の子どもと親の支援について、介護休業制度のような不登校休業制度の創設、看護休暇の拡充など育児と仕事の両立に対する支援が早急に求められるが、見解は。



A 不登校の子どもを持つ保護者は、我が子の将来への不安や仕事との関係など、多くの悩みを抱えている。保護者対象の新たな休業制度などは国において検討・整備すべきものと捉えている。本年4月に育児・介護休業法における常時介護を必要とする状態に関する判断基準が見直され、子どもが不登校に至る事例も国会で議論されており、引き続き国の動向を注視していく。

各議員の氏名の下にある二次元コードから市議会HPの録画映像をご覧ください。
(公開期間は11月末日まで)



録画中継は
こちらから▼



A ふるさと納税をはじめとするシティセールスや特色あるまちづくりによる都市ブランド向上などにより関係人口創出に取り組んでいる。積極的に対外へと情報発信することで、都市ブランドの向上に努め、子育て支援と教育の充実、新産業の創出、賑わいづくりと文化スポーツの振興、DXのほかUFOの里づくりや納豆のまちふくしまなど、個性ある地域づくりの取り組みにより、次世代を育みやすいまち、个性的なものが躍動する面白いまちというブランドづくりを進め、関係人口創出を図る。



七島 奈緒
ななしま なお

Q 移住促進に向け、
関係人口の創出への取り組みは。



市議会傍聴マスコットを 紹介します

福島市議会では、8月から本会議を傍聴する方へ傍聴パスポートをお渡ししております。なお、パスポートには、生成AIにより作成したマスコットキャラクターがデザインされております。

マスコットは、市の鳥であるシジュウカラをモチーフとしております。

※詳しくは、裏表紙(8頁)をご覧ください。



シジュウカラきくちゃん
(市中から)



シジュウカラきくよ
(市中から)



シジュウカラきくぞー
(市中から)

議会の運営などに関する協議や調整を行う ために各種検討会を設置しています

議会改革検討会

今後の議会のあり方及び議会に係る諸課題や議会基本条例の施行状況の確認、検討を行います。

※議会基本条例の施行状況についてはこちらから⇒



座 長	副座長
羽田 房男(副議長 市民21)	小松 良行(真政会)
委 員	
川又 康彦(真結の会)	沢井 和宏(市民21)
小野 京子(公明党)	山田 裕(日本共産党)

政務活動費検討会

議員の調査研究その他活動に資するため必要な経費の一部として交付される政務活動費のあり方や諸課題について検討を行います。

※政務活動費についてはこちらから⇒



座 長	副座長
羽田 房男(副議長 市民21)	丹治 誠(公明党)
委 員	
七島 奈緒(真政会)	根本 雅昭(真結の会)
遠藤 幸一(市民21)	佐々木 優(日本共産党)

議会活動推進検討会

市議会だよりやホームページをはじめとした議会広報の充実や議会図書室の管理、議会活動のペーパーレス化やICT化の推進など、議会活動を推進するための協議、検討を行います。

※市議会の広報はこちらから⇒



座 長	副座長
羽田 房男(副議長 市民21)	村山 国子(日本共産党)
委 員	
佐藤 勢(真政会)	菅原美智子(真結の会)
佐原 真紀(市民21)	高木 直人(公明党)

議案等の審議結果

～全会一致で可決等されたもの～

区分	件名
市長提出	7年度補正予算 一般会計／水道事業会計／各特別会計
	6年度決算 水道事業会計決算認定／下水道事業会計決算認定及び剰余金処分／農業集落排水事業会計決算認定
	条例改正 市議会議員及び市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例及び市議会議員及び市長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例／個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例／手数料条例／市営住宅等条例／保育所条例／市立認定こども園条例
	人事 教育委員会教育長任命／公平委員会委員選任／財産区管理委員選任／人権擁護委員候補者推薦
	工事請負契約 北矢野目ポンプ場電気設備更新工事／松陵中学校（松陵義務教育学校）改築事業 既存中学校校舎等解体工事／第二小学校エレベーター棟設置および北校舎外壁等改修工事
	財産取得 災害用自走式トイレカー／消防ポンプ自動車／化学消防ポンプ自動車／高規格救急自動車
	その他 市道路線の認定及び廃止
委員会、議員提出	意見書 ガソリン税の暫定税率廃止に伴う地方財源の確保を求める意見書／太陽光パネルのリサイクルの義務化に関する法整備を求める意見書
請願	吾妻山の景観回復を求めることについて

～電子採決システムによる採決結果～

（○：賛成、×：反対）

	会派名		真政会										真結の会							市民21				公明党			日本共産党		無所属							
区分	議員名 件名	採決結果	浦野	佐藤	七島	石山	白川	萩原	大平	小松	半沢	黒沢	渡辺	菅原	二階	根本	斎藤	川又	鈴木	二階	尾形	真田	穴戸	遠藤	佐原	沢井	羽田	高木	高木	丹治	後藤	小野	山田	佐々	村山	三浦
			洋太郎	勢	奈緒	波恵	敏明	太郎	洋人	良行	正典	仁	敏彦	美智子	利枝	雅昭	正臣	康彦	正実	武文	武	広志	一照	幸一	真紀	和宏	房男	克尚	直人	誠	善次	京子	裕	木優	国子	由美子
市長提出	6年度決算 各会計歳入歳出決算認定	○		○						○								○							○				○					×		○
	条例改正 市立学校条例	○		○						○								○							○				○				×		○	
請願	米の安定供給等を求める意見書提出方について	×		×						×								×						○				×					○		○	
陳情	シルバーパスポート制度に関するこについて	×		×						×								×						×				×					○		○	

- ・採決結果の○は、提出された議案等に対して賛成多数で可決・採択されたことを示しています。
- ・採決結果の×は、提出された議案等に対して賛成少数もしくは賛成者なしで否決・不採択されたことを示しています。

全員協議会を開催

9月22日、市議会全員協議会を開催し、第7次福島市総合計画まちづくり基本ビジョンの将来構想等の中間報告について説明を受け、その後質疑を行いました。

◆主な質疑内容

問：第7次総合計画において人口減少を共通のテーマとすることによる効果は。

答：人口減少という課題が目に見えるかたちで共有化が図られる。

各部署の横断的な取組を1つにまとめられることによって、その効果が目に見えるかたちで進むことが期待される。

全員協議会の概要はこちらから▶



トピックス1

令和7年度秋季議会報告会・意見交換会を開催します

開催日	開催時間	会場
11月4日(火)	午後6時00分	信夫学習センター
11月6日(木)	午後1時30分	蓬萊学習センター(分館)

- 事前申し込みは不要ですので、ご都合のよい会場へお気軽にお越しください。
- 議会報告会は、令和7年6月から令和7年9月までに開催された議会の内容をお知らせいたします。
- 意見交換会は、テーマは設けず市政全般に対するご意見をお聞きます。



詳しい内容は
こちらから
ご覧ください



今回は上記2会場のほか、市議会へ関心を持ってもらうため、他の2つの会場で青年、女性の関係団体を対象に開催します。

自由に参加いただける会場は、記載の2会場となりますのでご了承ください。

トピックス3

全国初？

傍聴パスポートをお渡ししています



福島市議会では、市議会への関心を高め、傍聴への契機として頂くため、8月より傍聴パスポートを無料でお渡ししています。パスポートのマスコットは、市の鳥であるシジュウカラをモチーフに、画像生成AIで作成しました。傍聴受付時にパスポートを提示頂くと傍聴日のスタンプを押印します。継続した傍聴の記録などにご活用ください。

◆12月定例会議の日程について

12月定例会議は、11月16日(日)に福島市長選挙が行われるため、日程は未定です。

会議の日程は決定次第、市議会ホームページなどでお知らせします。

なお、12月定例会議で審議する請願・陳情の締め切りは12月2日(火)午前11時です。

トピックス2



ファミリーぎじょー☆体験ツアー(親子議場見学会)を開催しました

7月27日と8月24日の2日間、市民に開かれた議会をめざし、市議会への理解と関心を深めていただくことを目的に、ファミリーぎじょー☆体験ツアー(親子議場見学会)を開催しました。

体験ツアーでは、4つのステップに分けて福島市議会のことを学び、演壇でのAI文字起こしや電子採決システムなどにより新しい議場を体験していただきました。

2日間で小学1～6年生の児童と保護者のみなさんの合計70名にご参加いただきました。内容はこちらから▶



9月定例会議の傍聴者にインタビューを行いました

Q 傍聴の目的を教えてください。

A 市議会議員の方々が、こういった活動をされているのか、議会の様子を知りたいと思い、傍聴にきました。



左から、嶋原悠生さん(19歳)、佐々木千楓さん(20歳)、荒木ひなのさん(18歳)

※年齢は取材時

Q 市民の方々に市議会に関心を持ってもらうには？

A 一般の方が、市議会を傍聴できること、自身の生活に関係する議案など議会の内容を知ってもらい、議会を身近に感じてもらうことが必要だと思います。

◆市議会広報に関するご意見をお寄せください。

〒960-8601 福島市五老内町3番1号

電話 024-525-3776 FAX 024-534-2520

福島市議会 活動推進検討会あて

◆市議会ホームページをご覧ください。

<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/gikai/index.html>

発行：福島市議会 編集：活動推進検討会

